

厚田区、本町・八幡地区 学校整備説明会 開催状況

校区 (エリア)	学校名 保育園名	保護者等 (資料は事前配布)				地域 (誰でも来られる機会)			
		開催日	時 間	会 場	参加者数	日時・会場	時 間	会 場	参加者数
厚田小 厚田中	厚田小学校 厚田中学校 厚田保育園	12/21 (月)	18:35~20:05	厚田保健センター	18名参加	2/2 (火)	13:35~15:30	厚田保健センター	3名参加
	望来小学校	1/21 (木)	18:30~20:05	同校 (音楽室)	10名参加	2/4 (木)	18:30~20:35	望来コミセン	15名参加
	聚富小学校 聚富中学校	12/10 (木)	19:00~20:25	同校 (多目的室)	20名参加	1/30 (土)	13:35~15:40	聚富会館	38名参加
聚富小中	聚富保育園	1/22 (金)	16:05~17:30	同保育園	9名参加				
八幡小	八幡小学校	1/20 (水)	18:35~20:05	同校 (図書室)	10名参加	2/5 (金)	18:30~20:20	八幡コミセン	6名参加
	くるみ保育園	1/18 (月)	17:30~19:05	同保育園	20名参加				
	石狩小学校	1/28 (木)	19:05~20:35	同校 (体育館)	20名参加	2/8 (月)	18:30~20:20	弁天会館	6名参加
石狩小 石狩中	石狩中学校	2/1 (月)	18:35~20:15	同校 (理科室)	3名参加				

110 名参加

68 名参加

学校整備の具体策（案）に対する主な意見・要望事項等まとめ一覧

- ・厚田区、本町・八幡地区小中学校の整備に係る検討会（H27.11.24・25）
- ・学校整備の具体策（案）に係る保護者・地域説明会（H27.12～H.28.2：全13箇所）

No.	意見・要望等のポイント、概要	具体的・個別の意見、要望等
1	聚富小中の児童生徒について ・具体策（案）では、現行の厚田区という扱いで、「（仮称）厚田小中学校（厚田新設校）」へスクールバスで通学することとなっているが、通学距離が遠いので、八幡小・石狩中への通学を認めてほしい。 ⇒ 早めの決定と周知を！	・スクールバスでの通学時間（乗車時間）が長く、子ども達には負担である。 ・学校で急病になった時に、保護者が自宅や職場から迎えに行き、その後花川・札幌方面の病院へ向かうことを考えた場合、車の運転が負担である。 ・将来の中学校の進学先（石狩中か、厚田新設校か）を見据えて、今から八幡小か、聚富小かを選択できるようにしてほしい。 ・できるだけ近い学校へ通わせたい。（距離が遠いだけに、交通事故等が心配。リスクが高い。） ・5年をかけないで、できるだけ早く八幡小・石狩中の校区として認めるべきである。（遅くとも3年後位迄に。） ・これを契機に、トーマン団地（緑ヶ原、厚田区虹が原）の校区を一つにしてほしい。これまで約30年間、お祭りも別々に開催している、子ども達の学校区が一つになれば、地域住民同士のつながりができる。
2	スクールバスの運行について ・各地域のニーズに対応した運行（柔軟な対応）をしてほしい。 ・乗車時間が長時間にならないよう、必要台数の確保や、効率的な運行ルート、運行ダイヤを検討してほしい。	【本町・八幡地区】 ・これまで自宅から中央バスのバス停まで遠かったので、できるだけ自宅近くからスクールバスの乗り降りができるようになることを望む。 ・放課後児童クラブ（学童保育）の児童について、下校帰宅便の本数や運行ダイヤなど、きめ細やかな対応をしてほしい。 ・冬季節に石狩河口橋が通行止めになった場合の対応として、①非常食の常備（八幡小、石狩中） ②一時避難場所の確保などを検討してほしい。 【厚田区】 ・厚田新設校は、複合・多機能の学校施設として「保育園」が計画されているので、保育園児もスクールバスで通園（送迎）できるようにしてほしい。（旧厚田村時代に、発足保育園、望来保育園が閉園した際、厚田保育園と聚富保育園までの送迎バス（添乗員付き）を運行してくれた。） ・国道231号線の中央バスが減便されている中で、望来～厚田間、発足～厚田間の「地域住民の足（コミュニティ・バス等）」の検討をしてほしい。（※全ての家庭が自家用車を持っているわけではない。） ・中学校の部活動に対応した運行をしてほしい。（土・日曜日、夏・冬休み期間中の運行） ・現在も既に、通学時の乗車時間が長いので、工夫検討してほしい。（50～60分かかっている）

No.	意見・要望等のポイント、概要	具体的・個別の意見、要望等
3	放課後児童クラブ（学童保育）について ・石狩小が八幡小へ統合された場合、石狩小の放課後児童クラブ（つくしクラブ）が無くなつて、八幡1ヶ所に統合されるのか。	・統合する場合は、スクールバスでの下校便によつて効率的・効果的な運行ができるよう、工夫検討してほしい。 ・クラブに通う児童数も年々減っている中で、3～5年後はどのような状況になるのか。
4	統合（閉校）される学校の子ども達への負担軽減の対応について ・子ども達への精神的不安やストレス、負担を与えないように配慮してほしい。	・スクールバスの通学（乗車）時間が長くないように、遠回りにならない効率的な運行ルートにしてほしい。そのためにバスの必要台数の精査と確保を行うこと。 ・「吸収される」のではなく、対等に合併統合して（一緒になつて）「新たな学校づくりが始まる」という意識づくりをしてほしい。 ・聚富小の児童が八幡小へ通学（転校）することに決定した場合には、石狩小の児童と同様に、新たな学校づくりに参画できるようにしてほしい。 ・「石狩小」の校名を残してほしい。 （石狩市の石狩小学校…由緒ある学校として）
5	校舎の跡利用について ・解体することを前提ではなく、多様な視点で有効活用の方法を検討してほしい。 ※特に、石狩小の円形校舎は、歴史建造物として価値があり、どうか残してほしい。	・本町地区の住民はもとより、石狩小の児童にも校舎への思い入れがあると聞いている。（八幡小のPTAより） ・聚富小中の校舎は老朽化しているが、体育館は耐震化されているので、災害時の避難場所とも含めた有効活用をしてほしい。 ・芸術創作の場（アトリエ）として利活用できないか。

No.	意見・要望等のポイント、概要	具体的・個別の意見、要望等
6	(仮称)厚田小中学校 (厚田新設校) の整備について ・厚田新設校は、どのようにつくられ、どんな学校づくりを目指しているのか。	・巨額の費用(市民の税金)をかけることについて十分留意して、無駄のない学校建設や関連施設(教職員住宅など)の整備をしてほしい。 ・小中一貫にこだわらずに、まずは併置(校)からステップを踏んで段階的に進めてもよいのではないか。 ・魅力ある学校づくりに向けて、既成概念にとらわれないように取り組んでほしい。縦割り行政で進めるのではなく、市役所内で連携を。(ユニークな発想。H30年オープンの道の駅との具体的な連携方策の検討。) ・道の駅の建設との関連も含め、現在の厚田中の体育館や厚田スポーツセンター(体育館、プール)、消防署、給食センターの各施設の見直しはどのようになるのか。 ・設立準備委員会の構成メンバーは、どのような人を想定しているか。 ・厚田区の教職員住宅の整備は急務であり、整備後は先生に住んでもらい地域に溶け込んでほしい。 ・もし聚富小中の児童生徒が通学しなくなった場合、児童生徒は多くても約50人の小規模校となり、現在の推計見込みより更に少なくなるのではないか。 ・小中一貫教育のカリキュラム、実施にあたっては、先生方の負担増にならないよう、子ども達や保護者が混乱を招かないように十分な準備をしてほしい。(※先生の人数が減るのではないか心配である。) ・建設工事中の厚田中生徒の学習環境はどうなるのか。工事中の騒音が心配。 ⇒校舎のゾーニング(レイアウト)について、建築担当課等と現在検討中。 ・保育園から中学校(幼少～15歳)まで、一つの施設で過ごし成長できるのは魅力の一つである。 ・現在、徒歩通学している厚田小の児童の通学距離が遠くなることを懸念している。(特に別狩地区の児童)また、厚田新設校までの通学路として、国道231号線を歩かせるのは危険なので、スクールバス運行などの対応策を検討してほしい。 ・外から子ども達を受け入れる山村留学や、若い世代(若い夫婦、家族)が住むための雇用の場をつくることを検討してほしい。それができれば子どもにも急には減らないのではないか。

No.	意見・要望等のポイント、概要	具体的・個別の意見、要望等	
		・道の駅という車が溜まる施設の近くに学校を建てることについて、治安・安全上の対策が必要ではないか。	・建設位置について、それぞれメリットとデメリットがあるが、地域の力でメリットは更に盛り上げ、デメリットは改善・解決できるよう協力していきたい。
7	石狩中について	・石狩中も高齢化が進んでいるので、今後の方向性を検討するべきではないか。	・石狩中に放課後児童クラブ（学童保育）ができたなら、部活動後の中学生と一緒に帰宅下校できるのではないか。
8	八幡小について		・統合する場合には、石狩小で行ってきた地引網体験などの特色ある取組を続けてほしい。
9	閉校する地域への配慮、振興策について	【本町地区】 ・本町地区は、消防署等の公共施設がほとんど無くなってしまったので、統合した場合の石狩小の校舎の跡利用策も含め、地域の方々が納得するような案を出してほしい。	・学校が無くなることによって、例えば冬季間の除排雪など、地域住民の生活レベルが下がらないようにしてほしい。
10	教育制度、カリキュラム等について	・石狩小が閉校になると、運動会などの地域との交流行事等が無くなり、日頃の子ども達の様子も見えなくなってしまう。	・コミュニティスクールは地域が学校に関わる仕組みのことだと思いが、豊富小中の子ども達も約20km離れた厚田新設校に通学させるコミュニティスクールはあり得ないと思う。

No.	意見・要望等のポイント、概要		具体的・個別の意見、要望等	
11	その他		・国道231号線の中央バスが減便されている中、厚田だけでなく八幡・トーマン団地にも影響が出ている。厚田区の中学生の高校への進学率はかなり高いと思うが、帰りのバスに限りがあるために高校での部活動を諦めている人もいないか。花畔中央までの間で、当別町のような循環バスがあれば、定住人口の減少に歯止めがかかるのではないか。	・厚田道の駅の建設で一時は活性化されても、定住人口が増えるとは考えにくい。定住対策の取組はどのように進めるのか。将来的に厳しいのではないか。